

# 大津歴まち百科 第4回ワークショップ

2015年(12)月(5)日(土)

## 化像・木像

「大津京と、比叡山と長等山の神仏」

講師：寺島 典人（大津市歴史博物館 学芸員）



### 当日のスケジュール

受付開始：10:00

講演：10:30～11:30 寺島 典人（大津市歴史博物館 学芸員）

見学：11:30 非公開文化財特別公開 近松寺 秘佛善光寺式阿弥陀如来像ほか

終了予定：12:30

場所：講演元・正蔵坊（〒520-0035 大津市小関町3-10）／見学 近松寺（〒520-0054 大津市逢坂2-11-8）

参加費：無料

定員：40名

### 申込方法

ホームページの申込フォームにてお申込みください（先着順）

ホームページ：[www.rekimachihyakka.jp](http://www.rekimachihyakka.jp)

メール：[info@rekimachihyakka.jp](mailto:info@rekimachihyakka.jp)

T E L : 077-522-2238 / F A X : 077-522-2221

主催：歴まち大津の未来を考える会

後援：滋賀県、滋賀県教育委員会、大津市、大津市教育委員会

平成27年度文化庁文化芸術振興費補助金

（文化遺産を活かした地域活性化事業）



# 講演：「大津京と、比叡山と長等山の神仏」

湖西南部にそびえる比叡山と長等山は、その秀麗な姿から、古来より靈験あらたかな山として知られていました。特に672年には天智天皇によって大津京（近江大津宮）が造営されると、両山の山上や麓には崇福寺や園城寺前身寺院といった寺院や、日吉大社などの神社が創建され、この周辺は一大宗教都市を呈するようになります。さらに788年には、伝教大師最澄によって延暦寺が開創され、そして智証大師円珍が園城寺を中興したことにより、ますます神仏があふれる土地となり、いまなお多くの仏像や神像が伝来しています。

今回は大津京時代の仏教・神道政策とその後の影響を中心に、大津の寺院や仏像について考えてみたいと思います。



秘佛 善光寺式阿彌陀如來像

## 講師プロフィール



寺島典人(てらしまのりひと)

大津市歴史博物館学芸員(彫刻史、仏教・神道美術)

北海道札幌市生まれ。最近は、仏師快慶の工房制作に興味。

## 元・正藏坊について

登録有形文化財。木造平屋建、建築面積一二六平方メートル、切妻造及び入母屋造棟瓦葺。南東側の八畳主室に二間幅の大床と付書院を付し、庭園に臨む三面に縁を廻らす。側廻りは柱上に舟肘木を載せ、垂木を疎らに配る。園城寺別所の坊として希少な遺構。



## 会場へのアクセス



- 京阪電鉄 京津線「上栄町」駅より徒歩約12分
- 京阪電鉄 石山坂本線「三井寺」駅より徒歩約10分
- JR琵琶湖線「大津」駅北口（びわこ口）より徒歩約17分
- 三井寺駐車場より徒歩約9分

\*駐車場はありませんので公共交通機関でお越しください。

## 次回予告

大津歴まち百科 フォーラム開催

日時：2016年2月20日（土）

## 本プロジェクトについて

本プロジェクト「大津市中心部の文化遺産を活用した地域活性化事業」は、歴まち大津の未来を考える会（代表：福家俊彦）が、豊かな自然と固有の歴史・伝統を育んできた大津市が有する歴史的文化遺産を斬新なアプローチで「楽しみ、考え、行動する」ことにより歴史的風土及び風致の創造的保存と活用を計り、この地域が培ってきた歴史文化に対する関心を喚起し、文化遺産と地域住民との結びつきを強める活動を展開することにより地域住民が誇りを持って暮らせるまちづくりの実現に資することを目指して、各種イベント（ワークショップ4回、フォーラム、モニターツアー）、インターネットを用いた情報発信、リーフレット制作を行います。

本プロジェクトは、平成27年度文化庁文化芸術振興費補助事業（文化遺産を活かした地域活性化事業）として実施しています。

詳しくはホームページをご覧ください

[www.rekimachiyakka.jp](http://www.rekimachiyakka.jp)

主催：歴まち大津の未来を考える会